

平和を見つめて

松田 基宏

遠き町の日差しに平和なる色を見つめ9条の力を思う

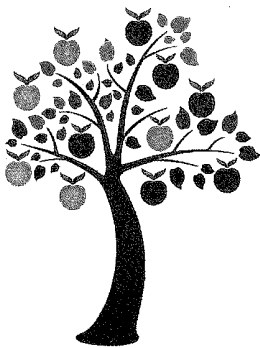
静かな静かな秋の朝でした。身も心も静かでした。遠い遠い七十年を越える昔の思い出が、ある一駒、鮮やかに残っているのです。

敗戦の日の夏がゆき、何もかもが崩れてしまった日々でした。それが当たり前の事で個々の記憶はほとんどなく、灰色の季節でした。国民学校三年生でした。

或る朝、口笛の「リンゴの唄」が聞こえてくるのです。こつそりと障子を開けると、疎開先の向かいの家の前で自転車を止めた男の人が書類を見ながら口笛を吹いているのです。何とさわやかな空気であったか、私にとっては青い色の朝でした。八月十五日迄の押さえつけられる事が当たり前の生活が、社会を吹く風も、隣近所の空気も、学校の先生の言葉も、ゆらゆらと変わり、力というものが脱落し、食べるという事に対してだけ、きわめて敏感な頃でしたから「リンゴの唄」がそのように聞こえたのでしょうか。

今、思えば作詞家のサトウハチローも、作曲家の万城目正もそのような気持だったのでしよう。並木路子のさわやかな唄声が今も耳から離れません。

社会人になり二十歳の頃から登山好きになりましたが、三十歳頃からは企業戦士の時代に入り、体力保持、気分転換のため、たまには山行きをする程度でした。第一の職場を退職してから、二十代の続きの登山好きに戻りました。私は山上で遠くの風景を眺めるのが大好きです。最近では郊外に団地など美しい家が街を形成しています。それを見つめていると「平和」という有難さが強く心に迫ってくるのです。さまざまな苦しい思い出を背景にしてこの一首が出来ました。



事務局便り

◆今回は憲法カフェに参加された、清水さんに原稿を寄せて頂きました。次号の原稿を募集しています。どうぞお寄せ下さい。

◆「3000万署名」行動

4月19日(木) 十一時

スーパーマツモト

◆第二回憲法カフェ

4月20日(金) 1時30分

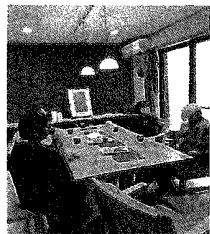
藤井さん宅

◆平成三〇年度会費納入のお願い

桂川九条の会は日本の「平和と憲法」を守る趣旨に賛同して戴いている会員の皆様の会費(三〇〇円)で運営されています。今年度の会費を五月末を目標に集金に伺います。ご理解とご協力お願いします。

(事務局員)

第1回 憲法カフェ



いっぱいおしゃべり
できました!

3月19日7人の参加で憲法カフェがひらかれました。

はじめに憲法共同センター政策のDVD「9条改憲って何？」をみんなで観て、甘いスイーツやコーヒー・お茶、差し入れのおまんじゅうなどいただきながら、話がはずみました。DVDは、今の政権が改憲で何をしようとしているのかを、短い時間でわかりやすく解説し「ぜったいいいやや!」「そうや!そうや!」と問の手が入りました。参加者の戦争中の学童疎開の話や、従軍していた親御さんから聞いた話など聞きながら本当に改憲を許したらダメ!国会で発議させないう

ももっと多様な取り組みが必要だと意見が出されました。あつという間に時間も過ぎて、話はつきません。第二回開催(裏面詳細)も計画しました。おいしいお茶いただきながら、みんなでワイワイ語り合いましょう。

真実を知る事こそが力

清水愛里子

安倍政権による憲法改正への動きがいよいよ現実味をもって迫ってきた。森友問題などによつて安倍政権への支持率が格段に低下したこの機を逃せばもう改憲のチャンスはないという算段であろう。

安倍首相は自衛隊を憲法に明記しても何も変わらないという。しかしこれは大ウソ。国民投票で憲法に明記されたとなれば、これは国民の直接の意思であるとして、今後の自衛隊任務の質、量の更なる拡大、軍事費の増大に正当性を与える協力的な根拠となりえる。集団的自衛権の行使容認後の自衛隊としては海外での武力行使も格段にやり易くなる。

まして法律と同じ効力で国民を縛れる政令を、内閣が議会の承認を経ずに勝手に定められる緊急事態条項など狂気の沙汰。行政権しか持たないはずの内閣が立法権を握る事の恐ろしさはナチスドイツの例を見てもわかる。国家権力の暴走を防ぐために定められた三権分立の停止を意味し、議会を無視できる国家緊急権がいったん発動されれば民主主義も立憲主義もご臨終。

国家権力のしがちな3大失敗とは
無謀な戦争、人権侵害・権力の独裁
と言われる。

安倍政権の目指す方向にばつちり当てはまっていますか?

またオリンピックまで、「早く!早く!今すぐ国民投票で改憲しないと北が、中が日本を攻撃してくる。大変だから早く!」と安倍首相憲法改正は全国民、子々孫々にとつて国の根幹に関わる重要問題にも関わらず、政府は改憲内容をきちんと理解し議論・検証をする充分な時間を国民に与えようとしないう。国民には何一つ利益のない改憲案であるという真実が、時間をかけるとバレてしまうから決断をいそがせる。これって振り込め詐欺の手口そっくりではありませんか?

改憲発議が迫る今日、これ以上国民がだまされないよう、安倍政権の欺瞞と危険性をより多くの人が気づくことが、今ほど大切な時代はないと思えます。

